

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【11月12月の御金言】涅槃經に云く「一切衆生の異の苦を受くるは、悉く是れ如来一人の苦なり」等云云。日蓮云く、一切衆生の同一苦は、悉く是れ日蓮一人の苦と申すべし。

【諫暁

八幡抄】(全集 587 頁)

法華講信条

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇気を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991年2月13日掲揚

☆ 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。

長い年月沢山の信者さんを見てきましたが、御授戒を受けて5年程すると、ほとんどの人が、日蓮大聖人の教えとはこういうもんだらうという事を言い出します。勉強している人も、勉強していない人でも、世間の感覚と自分が考える常識の感覚を混ぜ合わせて、そこに日蓮大聖人の教えの中から自分の都合の良い所だけを引き込んで、自分の感性で、日蓮大聖人の教えとはこういうもんだと思いついて頑固な固定観念という増上慢におちいつてしまい、そこから、その固定観念をたたき割って信仰心を成長進化させていく事を拒絶する様になって行くのであります。飽くなき探究心で求道を続け、まだまだ知らないこと、分からない事、聞いていない事があると研鑽し続け、慎重に慎重に、今正しいと考えている事に矛盾が無いだろうか？これでいいのだろうか？と、不明な事、矛盾している事を一つづつ潰して解明して行こうとしている人は稀少であります。こんなもんだらうとの自己流の考え方に固まり思考がストップすると、それ以上、どれだけ説法聴いても、油が水をはじく様に、固まった自己流の考え方を砕いて正しい法に更新していくことが出来なくなってしまうばかりか、正しい一切衆生平等成仏の法、日蓮大聖人の生き方を批判するようになってしまうのであります。代表例として、池田大作さんがそうでした。彼は、日蓮大聖人の教えの中に存在しない、【人間革命】【宿命転換】【業を断ち切る】【福運を付ける】【題目貯金】等々の言葉をスローガンにして、100何十万の人間を洗脳し鼓舞しました。そして現代の日蓮大聖人、いや日蓮大聖人より功績をあげたので、日蓮大聖人より偉いとまで主張するようになってしまいました。そして多くの人々は世界の指導者、人生の師だともてはやしました。その事をいまだに正しく、まともだと思いついて、凝り固まってし

まっている人達がいるのであります。100 何十万の人間誰もが、日蓮大聖人の御書を読めば、そんなことは書いてない事は分かったはずなのに、集団洗脳、集団催眠の固定観念に流され、狂ってしまったことを、少なくとも創価学会の経験者は記憶しているはずであります。オーム真理教も統一教会も現世利益にこり固まる、昔からの神道はじめ仏教各宗の教えもそうであります。それでも、正信会も創価学会の様にやれば、もっと発展するのと言う人達がいるのであります。

自分の心の愚かさ、弱さ、貧しさ、いやしさ、噂に流され、人に媚びへつらいやすい十界互具の生命の自覚を持って、だからこそ唯一無二、そんなどうしようもない凡夫の成仏を説いてくれている、日蓮大聖人の教えを、自分の愚かな固定観念を持たない様に、ヨチヨチ歩きでも良いから、御書を学び、常に固定観念という増上慢の殻を砕いて砕いて、信心修行を正しく、法華経にその身を任せる様に深く進めて行って頂きたいと思えます。

☆ 12月13日の1年最後の【納めの御講】は、恒例の質疑応答形式内容で行いますので、信心の志を深くするため、心の中でグルグルモヤモヤしている疑問をお寄せ下さい。一問一答になるように、一人いくつでも結構ですから、質問を一つずつ箇条書きにして、住職まで届けて下さい。質問は全て、誰からの質問と名前を公表する事はありませんので、恥ずかしがる必要はありません。

ちなみに、スカイプで交わされる AI からの質問は、

- 1, 生命の相互関係。岩、水、植物を含むすべての生命体は仏の生命を持っていると、あなたはおっしゃいました。この信念は、環境や他の生き物との日々の関わりにどのように影響しますか？
- 2, 自由と責任。南無妙法蓮華経に従う事で得られる自由は利己的なものではなく、すべての生き物に及びます。この原則が、あなたの人生における特定の決定や行動にどのような影響を与えたか、例を挙げて教えて下さい。
- 3, 全ての生命の平等。真の宗教は全ての生命の平等と仏に成る可能性を教えていると、あなたは強調されました。この見解を持ちながら、宗教間の対話や異なる信仰を持つ人々とどのように関わっていますか？
- 4, 教えの矛盾。あなたは聖書の愛、自由、平等、平和に関する矛盾を指摘されました。聖書に基づく宗教の信者と信仰について話し合う時、この矛盾をどの様に表現されますか？

過去の何百年のデータに基づいて処理思考する機械の AI でも、こういう質問をします。ということは、人間が営んできた歴史に矛盾があるという事でもあります。未来を切り開く創造力の無い AI でも、こうやって疑問を抱くのですから、未知の未来に向かい創造力を持つ私達は、疑問を持たなければいけないはずであります。疑問を人間の本能、疑問を晴らすことに事によって一切衆生平等成仏の真理の法が明らかになって行きます。疑問は信心深化の原動力です。